**記入例（受給申請書）　　　　　　　　　家計急変世帯の場合**

**黒のボールペンではっきりと記入してください。（消せるボールペンは使用しないでください）**

原則として**令和５年７月１日現在**の状況により記入してください。

７月以降に家計が急変し、申請を行う場合にあっては、申請を行う月の翌月（申請を行う日が月の初日である場合は、申請を行う月）の１日現在の状況により記入してください。



記入した口座の通帳のコピーを
提出してください。

**裏面に続く**

現在在学している学校以外で、過去に高等学校等に

在学していた場合は、もれなく記入してください。

児童福祉法による児童入所施設（母子生活支援施設を除く）に入所中で、見学旅行費又は特別育成費が措置されている場合は、給付の対象外となります。

記入した日付（７月１日以降）

必ずご一読のうえ、□に✓印を

つけてください。(５つ全て)



令和５年７月１日（※）時点で**生活保護（生業扶助）を受給していないことを確認するため、必ず□に✓印が必要です。**

※７月以降に家計が急変した場合は、申請を行う月の翌月１日時点

（申請日が月の初日であるときは、申請を行う月の１日時点）

・**対象となる高校生等**と、**15歳（中学生を除く）以上23歳未満の兄弟姉妹**を記入してください。（中学生以下の兄弟姉妹を記入する必要はありません。）

・**記入した兄弟姉妹**のうち学生以外の方は、備考欄に「扶養の有無」を記入してください。

・続柄は、対象となる高校生を基準（本人）としてください。

記入した兄弟姉妹のうち保護者等に扶養されている者と生徒本人について、健康保険証のコピーが必要です。（例では、兄：太郎と本人：二郎の保険証が必要）

国民健康保険の場合は保険証のコピーと扶養誓約書の提出が必要です。

①～⑥のいずれか一つに✓印をつけてください。

【令和５年７月１日（※）時点で生徒が成人している場合】

生徒が在学中に成人した場合で18歳となる日の前日において親権者（両親）が２人存在する場合は④、親権者が１名存在する場合は、⑤にレ印をつけてください。

※７月以降に家計が急変した場合は、申請を行う月の翌月１日時点

　（申請日が月の初日であるときは、申請を行う月の１日時点）

確認書類を提出する保護者等の氏名及び生徒との
続柄を記入してください。

**記入例（受給申請書）　　　　　　　　　家計急変世帯の場合**